

第2回テーマ展『生き物讃歌』 開催

8月は、第2回テーマ展『生き物讃歌』を展示しています。テーマ展に合わせ各会員作品作りに努力した結果、素晴らしい作品展となりました。

全作品の詳細を同時発行する会報第15号に掲載しています。



早く復帰して！大館委員休会に

7月21日、大館事業委員が会長に病気治療のため休会届を提出しました。撮影に、事業委員にと大活躍の大館委員でしたが、これからは治療専一に励み、一日も早く写真クラブに復帰して欲しいと願っています。

7月28日に開催された運営委員会では、大館委員が受け持っていた任務の後継について審議しましたが、その結果、主な事項の引継ぎは次のように決まりました。

◆作品票は各自作成

展示作品の作品票は会員各自に記入することにしました。これまではタイトルと撮影地を連絡すると大館委員が作成していましたが、これからは作品票をレイアウトした用紙を配布しますので、パソコンあるいは手書きで記入して提出してください。予めレイアウトした用紙は下山広報委員が作成します。

◆秋季撮影旅行変更

秋季撮影旅行は白馬に変更。運転手兼ガイドを引き受けていた大館委員に代わる人がいないため、この春に行った白馬にもう一度挑戦することにしました。早急に必要なのは参加人数ですので、近く全会員にアンケートを実施します。予定としては10月12日(金)～13日(土)の一泊旅行です。

◆市民ギャラリー展中止

市民ギャラリー展、今年度は中止とします。8月に予定していた2Lサイズの作品プリントの提出は取りやめにします。

◆文化祭の協賛展

文化祭の協賛展は通常のテーマ展とします。文化祭の協賛展は10月下旬から11月上旬にかけて臨時展として展示してきましたが、今回は11月のテーマ展として1ヶ月間展示します。テーマは例会で決まった「柳瀬及びその周辺で撮影したもの」です。

◆ホームページの協力体制

柳瀬写真クラブのホームページの協力体制。これまで大館委員が対応してきた島田会員作成のホームページの対応は、今度から小代会長をはじめ田辺総務、下山広報委員が当ることになりました。

ホームページのアドレスは<http://www.yanasepc.fscs.jp>です。まだご覧になったことのない会員は是非一度見てください。素晴らしいホームページになっています。

私の一枚『キツネに見つめられて』 田邊洋一

「おや？ 誰かに見詰められている！」

平成12年6月20日の早朝5時、いつものように故郷の田んぼの畦でカメラを構え、朝霧に包まれる棚田を撮影しようとシャッターチャンスを待っていました。すると後ろの方で誰かがじっと私を見詰めているような気配がしたのです。こんな早朝に誰だろう…？ 気になって、振り返ってみました。

キツネでした。田んぼの畦で1匹のキツネが身動きもせず、じっと私を見詰めているではありませんか。ゆっくりと三脚をキツネの方に動かします。カメラを構えます。シャッターを押します。それを待っていたかのようにキツネは私から視線を外し、田んぼの奥の森の方へ行っていました。



6日後、また私は同じ場所で棚田の撮影をしていました。しばらくすると後ろの方で子犬のような鳴声がかかります。振り返ってみますと、なんと子ギツネが母ギツネにじゃれているではありませんか。この間のキツネに相違ありません。

野生と人間が共生できる自然の姿…それがよくいわれる原風景の一つだと思います。この原風景にすっかりはまってしまった私。そのきっかけがこの一枚の写真です。

暑気払い懇親会

さて今年度も4か月が経過しました。ちょっとこのあたりで息を抜いていただき、会員の皆さまに率直な意見を気楽に述べてもらい、今後の写真クラブの運営に反映致しましょうということを考え「暑気払い懇親会」を計画致しました。

- 日時 8月25日 例会の後午後6時～8時30分
- 場所 東所沢駅前 吉人吉人(きときと)
- 参加費 4,000円
- 参加申し込み 8月20日までに小代会長あてメール、FAX、電話にて連絡して下さい。

今後の予定

- 8月25日…例会 公民館 第2学習室
am11:00 食事会&ちょっと ちょっと展
pm 1:00 例会 9月と10月作品の提出
pm 5:00 8月と9月作品の取替え。
pm 6:00 暑気払い懇親会
- 9月29日…運営委員会 公民館 第1学習室
pm 1:00 会議
pm 4:00 9月と10月作品の取替え

生き物讃歌展 特集号

◆今号は生き物讃歌展に出品された全作品を掲載いたします。

生き物讃歌 推薦作品



親と子
七戸真理子

心なごみながらの撮影でした。



天国の眠り
七戸健二

コアラに天国があるかどうか知らないが、あの眠っているような目を見るとそんな世界があって楽しく遊んでいるように想われた。



舞扇
佐藤昌市



緑の化身
田邊洋一

「かまきりの めっと顔出す 草葉かな」
(洋々坊)

9年前、こんな俳句を作りながら、古里の畑で撮った1枚です。
田邊洋々坊

◆その他出品作品



これは好い獲物だ 相原俊夫

東武動物公園にて撮影 目の輝きと毛並みの白さが印象的



猛獣の牙(アムールトラ) 小代光夫

猛獣の凄まじい生態を写せればと願っていましたが、多摩動物公園で飼育されている動物にそれを求めるのは無理なことでした。写真はアムールトラですが、退屈して檻の中を行ったり来たり、坐るとアクビの連続です。動物にとって平和過ぎるのは苦痛なのかもしれません。たとえ他の動物に食われることがあっても、自然の中での生活が一番合っているのでしょう。



コアラ 三輪賢二

さすが、「パンダ」を売り物にしているお国柄、公園の規模は狭いが、20数頭のパンダが樹に登り、可愛いポーズをしている。公園の雰囲気は、子供づれの若い美人で賑わっていた。



君に会いたい 伊藤律子



ユキヒョウ 小代光夫



ひとりぼっち 後藤光之



友達(カピバラとリスざる) 河合義典
信頼していつも遊んでいる友達



優雅 木村隆二
旅先で撮影しました。



仲よし 渡邊晴雄



夏の里山 飯嶋康次

三富の雑木林シリーズの一枚です。
数年前、月に一度撮影に行きましたが、行く度に四季折々の変化が有り、まさに一期一会なのです。



朝の散歩 杉山 元

この鳥たちは普段、つつじの植込の中で行動しているため写真になりにくい。何回か通って早朝に植込から出て来たところを撮りました。



恥ずかしいの？坊や・・・ 森田準之助

一昨年の夏、長野県の戸隠へ家族で旅行したときのものです。



おともだち 大橋八洲男

狙っても撮れない、一瞬の出会いに感謝。



鴨の一家団欒 横井 昇

親子のほのぼのとした愛情が感じられたのでその一瞬を撮りました。



冬の風物詩 島田憲一

白鳥に対する世話人の愛情を讃える気持ちで撮りました。



ファミリー 富山茂雄

この写真は昨冬、大里郡川本町まで白鳥を撮影する目的で出掛けた際、白鳥が見当たらず、「鴨」「白鷺」を夢中で撮った中の1枚です。マ、白鷺一家の「朝礼」といった印象かな。



欠伸 秋山恒雄

ある方が「トラが吠えてる、あの写真はよかったぞ」と言ってくれましたが、実は吠えているのではなく(欠伸)です。つまりあくびなんです。獲物を狙う眼光鋭い野獣の目では有りません。なぜならこのベンガル虎は三食昼寝付きの養殖動物ですから。



末っ子の練習 下山敏夫

右端のものがいているように見える小ガモは、いつも列の一番最後にいて動作も一番遅い。あたかも末っ子のようでした。